



大会会場全景

曇り空ながら心地よい秋風の吹き渡る十月三日、第三十六回地区民運動会が庄東小学校グラウンドで盛大に開催されました。今年の頼成は紫団が善戦して三位、青も五位とまずまずの成績を収め、五位と七位甘んじた昨年の結果を上回りました。紫団は一発逆転玉入れで一位となつて大量点を稼ぎ三位に食い込みました。また、孫と一杯でも一位となつて三位入賞に貢献しました。青団もビッグスプレーでトップとなり善戦しましたが残念ながら上位入賞はなりませんでした。一位は白団(福山)、二位は赤団(安川)、四位は緑団(徳万)、六位はエンジ団(安川)、七位は黄団(三合新)でした。終了後、いかるぎ館において反省をかねて慰労会が行われ四時すぎ散会しました。出場された会員、応援をしてください。

頼成勢三位と五位に

紫団玉入れで得点稼ぐ

お世話の方、話をされた役員、皆さ苦勞でた。



紫団の「孫と一杯」先良く一位スタート



市老連主催第八回

ふれ愛スポーツまつり

秋風のさわやかな十月十四日、柳瀬の県西部体育館で、市老連主催の第六回ふれ愛スポーツまつりが開催されました。スポーツを通して老人クラブ会員の親睦とふれあいを深め、いきいきとした人生を楽しむとともに、幼稚園児との交流を図り健康保持に努めることを目的としたこの集いに、市内の各単位老人クラブから会員五七六人が参加、幼稚園児一九八人と合わせた総勢七七四人が一堂に集い、会員と園児がペアになつて大玉転がしや玉入れなどに興



じ、健康作りとレクリエーションをかねて楽しいひとときを過ごしました。庄東四力村からは九六人が参加、光寿会からも会長以下十人の会員が参加しました。一般高齢者学級開く主催の高齢者学級が、新装なつた徳万の公民館

一般老人クラブ連合会

季節のうた

熟れきって遂に落ちたる木守柿

故坂東ぞとい句集「柿の花」より



で開催されました。折悪しく雨模様でしたが、三十名あまりの会員が参加し、交通安全に関するビデオを見たあと、砺波警察署庄東駐在所所長の三国昌明氏から、増えつつある高齢者の交通事故にどう対処するかについてお話を聞きました。

なお、次回の高齢者学級は公民館との共催で、十一月七日、三合新地区の地域巡りとして開催されます。八時四十分集合九時出発です。多くの光寿会会員が参加してください。

いかるぎ 鷓木

◆奄美大島が四日間に八百リもの豪雨に見舞われるという未曾有の被害を受けました。◆一年半も拘置されていたキャリア官僚の疑いが晴れて行政の表舞台に復帰し、逆にそれを取り調べていた辣腕検事が起訴されるというこれも前代未聞の不祥事が起きました。◆落盤事故で七百坪の地下に七十日間も閉じ込められていた三十三人が全員無事救出されるという世紀の奇跡が起きました。それらのいずれもが百年に一度あるか無いかの出来事です。そういうえは今もテレビが◆二百円の車券一枚で九億四千万円を当てたという信じられないようなニュースを伝えていきます。何でもかんでも地球温暖化のせいにしてしまう御時世ですが、それにしてもこの頃の異常な出来事の続発をみていると、自然界だけでなく人間の世界までも、温暖化の影響を受けておかしくなっているのではないかと思えてきます。

光寿会秋の一泊旅行



が一之御柱。霧ヶ峰高原で切り出された長さ十七呎、直径一呎の樅の大木で、数千人の氏子の手でここまで運ばれて立てられました。すべて人力で運ばれ有名な御柱の坂落としては今年死者も出ました。

当日は諏訪湖が一望できるラコ華乃井ホテルに宿泊、翌日、上社(春宮)を参拝、三と四の御柱を見ました。一同神前にお賽銭を投じて平穩無事を祈願し諏訪大社を後にしました。

会員の慶弔

慶事
砺波市文化の日表彰
地域振興
林 茂之 様

永年に渡り頼成自治会・般若自治振興会の会長として、地域社会の発展に寄与されました。おめでとうございます。

弔事
林 純一郎 様

十月二十九日死去
享年 八十一歳
謹んでご冥福をお祈りします

光

寿会恒例の秋の一泊旅行が十月二十一日・二日の両日、三十五人の会員が参加して行われました。今年も七年に一度の御柱祭が行われたばかりの長野県諏訪大社参拝がメインの旅行で、初日にまず一之御柱と二之御柱がある下社(秋宮)に参拝しました(写真右手)

その後途中にある酒造場に立ち寄り平湯へ、ここで昼食をとったあと、紅葉真っ盛りの上高地を一回りして、午後五時過ぎ無事帰着しました。

早くから計画を立て準備してお世話いただいた役員の方々に感謝しつつ、今年の一泊旅行を終えました。

11月行事予定		
★	1日	定例役員会
★	7日	公民館まつり
		地域めぐり
★	17日	らんじょ浮世亭

浮世亭だより

10月のらんじょ浮世亭では新聞紙を利用したゲームの数々を楽しみました。どんどん折りたたんで何回畳めるかで指圧の強さを試すとともに、もし何回も折りたためるとしたら、何回目でその厚さが富士山の高さを超えるかなどという頭の体操、丸めてボールを作りそのボールでいろいろ体を動かす遊びなどを楽しみました。また、その合間に「見えないものでも、見えるものでも」をテーマにした席亭の話もありました。金子みすずの詩や、上右のイラストのようなスライドをみながら、「見る」ということについていろいろ考えました。皆さんは何の絵に見えますか。



午後には定番の仏説阿弥陀経の読誦、蓮如上人のお文(御文章)のうち五帖17通目の「女人成仏の章」の書写をしました。午後はペタンクの練習もありいかるぎ館は光寿会会員で賑わいました。

次回は **11月17日(第3水曜日)**です。

光寿会会員有志の皆さんのご協力を得て『観菊のお茶会』を開く予定にしております。会員の方々の丹精込めて育てられた菊の花を觀賞しながら、形式にこだわらない気ままなお茶のつどいです。誘い合わせご来亭ください。お待ちしております。



「らんじょ浮世亭」は、砺波市社会福祉協議会が、高齢者の外出・交流をすすめることで、認知症予防をはかることを目指す事業の一つで、光寿会役員の方々のボランティア活動に支えられ毎月一回(第三水曜日)開催しています。